



# 社協だより

2018

No 84

平成30年1月15日

(発行所) 奈井江町社会福祉協議会 (電話65-6066番 FAX65-6067番)

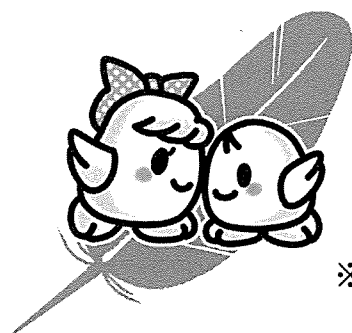


(写真: 歳末たすけあい演芸大会より)

**赤い羽根共同募金・**

**歳末たすけあい募金への**

**ご協力ありがとうございました**



※ “社協だより” は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行します。



# 年頭のご挨拶

奈井江町社会福祉協議会

会 長 二 口 敏 次 郎

新年明けましておめでとうございます。

平成三十年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年中は、町民の皆様のご理解とご協力のもとに、各種事業が円滑に推進することができておりますことに感謝とお礼を申し上げます。

また、日頃より各地域でのボランティア活動や各施設等へのご協力・ご支援、様々な場面での手伝い等、積極的にご協力を賜り、社会福祉活動の展開に大きな役割を果たしていただいておりますことに対し、重ねて感謝とお礼を申し上げます。

さて、全国的に高齢化が進む中で地域のつながりが希薄化するなど、日常生活をめぐる多くの地域課題が指摘され、これからの社会は、近所や地域に住む人が「皆で助け合い、支え合う」互助、共助の精神がますます重要になってくると思われまます。

当協議会といたしましては、これらの諸問題へ対応するために住民同士のつながりや助け合いなど、地域の福祉力を高めていくことが今後の課題と考え、町民の皆様が安心して暮らすことができる地域社会を創り上げていくことが、より一層重要になってくるものと考えております。

事業計画の基本方針であります「心がかよいあい安心して生活できる健康と福祉のまちづくり」を目指し、地域とともに邁進する所存であります。

本年も町民の皆様からの変わらぬお力添えをお願い申し上げますとともに、関係機関との連携・協働を深め、社会福祉の充実を目指すことをお約束いたします。

結びに、本年が皆様にとりまして、最良の年となりますようにお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

## 謹 賀 新 年

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

### 社会福祉協議会

会 長 二 口 敏次郎(本町地区)  
副 会 長 大 櫛 哲 行(民生委員代表)  
常務理事 橋 本 ミ エ(女性団体代表)  
理 事 松 本 正 志(町行政代表)  
森 山 哲 示(北町地区)  
西 田 修(南町地区)  
南 水 英 一(東町地区)  
清 水 三 郎(瑞穂地区)  
萬 三 郎(白山地区)  
林 博 六(大和地区)  
桑 島 雅 憲(宮村地区)  
松 田 幸 司(茶志内地区)  
鈴 木 勉(高島地区)  
仲 丸 茂 広(向ヶ丘地区)  
石 川 紀 子(福祉施設代表)  
川 端 精 朔(福祉施設代表)  
梅 本 てる子(女性団体代表)  
小 谷 博 之(ボ連協代表)  
堀 則 文  
監 事 中 野 忠 雄

#### 日本赤十字社奈井江分区分区長

分区分区長 北 良 治

#### 奈井江町共同募金委員会

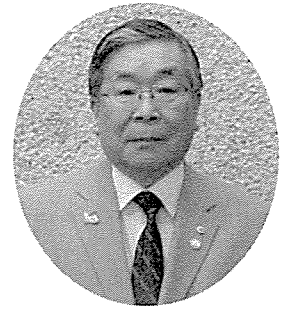
会 長 大 櫛 哲 行

#### ボランティアセンター

委員長 小 谷 博 之

#### シルバーセンター

会 長 岡 澄



# 新年のご挨拶

奈井江町共同募金委員会

会 長 大 櫛 哲 行

町民の皆様、明けましておめでとうございます。  
皆様方におかれましては、輝かしい希望に満ちた新年を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、平素より共同募金活動へ、心温かいご理解のもとご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、毎年厳しい社会情勢が続く、家庭生活が逼迫する中で、地域住民一人ひとりが社会のつながりを持ち、住み慣れた地域で必要な支援を受けながら生活を維持していくことは、大変重要なことであります。

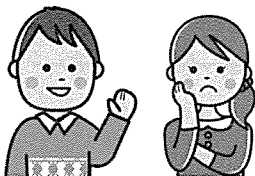
『赤い羽根共同募金』や『歳末たすけあい運動』では、基本理念にあります「相互扶助」の思いを大切に、地域に住む皆様が安心して暮らせる地域づくりを目指し、「じぶんの町を良くするしくみ。」として運動を展開してまいりました。

運動期間中には、町民の皆様をはじめ、各行政区、町内事業所、日赤奉仕団、更生保護女性会、民生委員児童委員協議会、各ボランティア団体などから心温まるご支援とご協力をいただきましたことに、厚くお礼申し上げます。

皆様から寄せられました浄財は、赤い羽根共同募金の約七割、歳末たすけあい募金のほぼ全額を奈井江町内の支援が必要な方々等に対しまして、有効に活用させていただいております。

共同募金は、地域に根ざした募金運動として、皆様にわかりやすく、親しまれ、共感の得られる活動になるよう努力し、民間福祉活動を支えていく所存でございます。

本年も、一層のご理解と絶大なご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



困った時は  
心配ごと相談所へ

社会福祉協議会では、毎月第一水曜日の午前9時から正午まで民生委員による「心配ごと相談所」を開設しています。あなたの身のまわりで起こった心配ごと（暮らし・家庭・健康・福祉・教育・苦情等）について相談員がお話し相手となり、力添えをいたします。もちろん内容については秘密厳守いたしますし、相談料も無料です。また、電話によるご相談も応じますのでご利用ください。（電話 65-6066 社協事務局）

## 心配ごと相談員名簿

担当委員	住 所	電 話	担当委員	住 所	電 話	担当委員	住 所	電 話
伊藤 義孝	北 町 1 区	65-4077	上嶋 幸子	本 町 9 区	65-2528	本濃 幸彦	南 町 8 区	65-3667
福井 泰矩	北 町 3 区	65-3268	大道 京子	東 町 1 区	65-3839	川浪 孝行	南 町 8 区	65-4563
伊月 光夫	北 町 4 区	65-3537	坂下みゆき	東 町 4 区	65-2820	鈴木 良子	宮 村 1 区	65-2257
堀 則文	北 町 5 区	65-4362	傳福 勝雄	東 町 5 区	65-2542	高田 雅宏	白 山 3 区	65-4329
中村 尚子	本 町 3 区	65-5174	山口 勲	東 町 6 区	65-2871	北山 武史	瑞 穂 2 区	65-3503
小林 仁	本 町 5 区	65-2569	沖野 順一	南 町 1 区	65-4754	鈴木 勉	茶 志 内 9 区	65-3772
大櫛 哲行	本 町 6 区	66-2231	清野 康弘	南 町 6 区	65-5543	小林 広幸	高 島 2 区	65-2829

※民生委員相談のほか、中空知法律相談センター弁護士による心配ごと相談所も開設しております。

お気軽にご利用ください。

相談日：毎月第3水曜日の午後1時30分～午後3時30分まで

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金へのご協力ありがとうございます

## 地域福祉に役立っています

～赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金～

昨年10月から12月までの3ヶ月間、赤い羽根共同募金運動が展開されました。

10月3日～5日の街頭募金では、町理事者、民生委員協議会、社会福祉協議会、奈井江商業高校生徒会などのご協力により、街行く人々に募金を呼びかけました。また、行政区や法人、篤志募金などにより多額の寄付が寄せられました。

集まった共同募金は、福祉施設の整備や高齢者団体、各ボランティア団体及び社会福祉協議会に配分され事業運営に活用されております。「社協だより」も共同募金配分金により作成されております。



さらには、12月から始まった歳末た

すけあい募金運動でも、行政区や篤志募金のご協力を頂き併せてお礼申し上げます。また、12月3日に行われた歳末チャリティーバザー・演芸大会においても関係団体等のご協力のもと盛会に終了いたしました。

昨今の不況により、大変厳しい経済情勢にもかかわらずご協力いただきました皆様に対し、心から感謝とお礼申し上げます。歳末たすけあい募金は、町内の各福祉施設や準要保護世帯等に見舞金などとして活用させていただきました。

今後とも募金運動の推進にあたり、町民の皆様の格段なるご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



## ◎平成29年度奈井江町の実績

### 【赤い羽根共同募金】

区 分	実績額(12月15日現在)	H28年度実績額
行 政 区 募 金	388,800円	433,400円
街 頭 募 金	31,542円	38,706円
法 人・大 口 募 金	582,100円	616,100円
学 校・職 域 募 金	10,037円	24,234円
チャリティーパークゴルフ大会募金 他	26,878円	12,110円
合 計	1,039,357円	1,124,550円

### 【歳末たすけあい募金】

区 分	実績額(12月15日現在)	H28年度実績額
行 政 区 募 金	341,400円	433,000円
個 人・団 体・諸 行 事 等	210,111円	358,646円
合 計	551,511円	791,646円

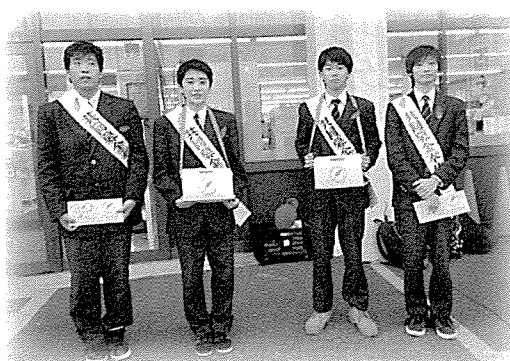




みなさまの  
暖かい笑顔と募金に  
お礼申し上げます。



赤い羽根共同募金



# 今年も大盛況!!

## ～歳末たすけあいチャリティーバザー・演芸大会～



去る12月3日、第47回歳末たすけあいチャリティーバザー・演芸大会が文化ホールにおいて開催され、大勢の方々にご来場いただきました。

毎年好評の『バザーコーナー』では、福祉施設など協力団体の出店や各ボランティア団体、町民の皆様から寄贈いただきました日用品等約1,100点の品物がところ狭しと並べられ、開場時間前からつめかけた皆さんであふれんばかりのにぎわいを見せ、各女性団体の方々がうでによりをかけて作った『食事コー

ナー』では、そば、おでん、甘酒などが大変好評でした。

また、午後から開催された演芸大会では、毎年恒例の山本ナツ子ショーや各団体による舞踊、詩吟、フラダンス、カラオケなど多彩な演芸の数々に会場内は拍手が鳴り止まないほどの大盛況となりました。

最後に町民の皆様のお心遣いのご協力によりこの事業が無事開催できましたことに深く感謝申し上げますとともに、今後も歳末たすけあい運動推進にご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



## 歳末演芸大会及びチャリティーバザー益金計算書

団 体 名	代 表 者	金 額	備 考
奈 々 窯 会	会 長 熊谷 恵	23,476 円	陶芸品他
江 口 農 園	代 表 江口 敏文	6,000 円	漬物、ジュース等
し ら ゆ り 会	会 長 澤田千恵子	44,400 円	おでん・甘酒
女性団体連絡協議会	会 長 山 節子	34,750 円	そば・ライス
な い え 福 祉 会	総括管理者 石川 健吾	2,500 円	椎茸等
ボ ラ ン テ ィ ア 連 絡 協 議 会		12,448 円	野菜、餅等
歳 末 演 芸 大 会 入 場 券		146,100 円	300 円 × 487 枚
歳 末 チ ャ リ テ ィ ー 当 日 募 金		662 円	
各 ボ ラ ン テ ィ ア 団 体 ・ 個 人 等		77,511 円	歳末チャリティーバザー寄贈品
収 入 合 計		347,847 円	
支 出 合 計		171,536 円	入場券、チラシ、材料費ほか
差 引 き		176,311 円	歳末たすけあい募金へ

皆様からご協力いただいた、平成29年度歳末たすけあい募金は、次のとおり助成させていただきました。

### ★歳末たすけあい見舞金配分内訳

◎準要保護世帯等（低所得者、母子、父子世帯）	865,000 円
◎里親家庭	20,000 円
◎障がい者施設	105,000 円
◎各共同生活援助施設並びに介護生活援助・一体型施設	52,500 円

計 1,042,500 円





毎年、  
バザー  
出店協力を  
ありがとうございます。  
※敬称略





レイナニフラダンスサークル



新舞踊  
千鳥の会



※敬称略

# 演芸大会出演者



奈井江  
歌謡会



奈井江  
健吟会



山本ナツ子社中



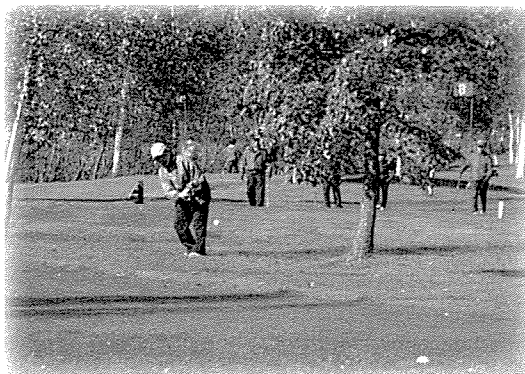
レイアロハ奈井江フラダンスサークル

ご出演  
ありがとう  
ございました



## ◇秋晴れのなか好成绩続出!!

### ～共同募金チャリティーパークゴルフ大会開催～



スポーツを通じて共同募金活動の普及とご理解をいただくため、去る10月6日、共同募金委員会主催のチャリティーパークゴルフ大会が開催され、今年で19回目を迎えました。

当日は、爽やかな秋晴れのなか、競技に参加された25名の方々は、受付の際にお願いした共同募金にも快く寄せていただきました。

開会式後、2ラウンド36ホールの競技では、ホールインワンなどの素晴らしいショットの出る白熱したゲーム展開となり、好成绩が続出いたしました。

大会を全面的にご支援いただきました奈井江町パークゴルフ協会の方々をはじめ、当日参加されました選手の皆様に厚くお礼申し上げます。

#### ◎大会結果 (敬称略)

##### ・男性の部

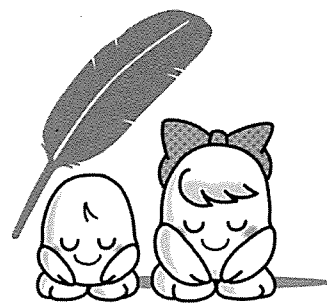


優勝 川 口 進  
準優勝 馬 場 和 夫  
3 位 青 柳 利 雄

##### ・女性の部



優勝 工 藤 ユキ子  
準優勝 高 島 栄 子  
3 位 大 沼 昌 子



大会募金額  
**5,179円**

## 小地域ネットワーク事業研修会

現在、小地域ネットワーク「たすけあいチーム」の活動は、各地区において地域事情に即した諸活動が展開されておりますが、この活動を進めるにあたり、活動中の悩みや苦勞、また他の地区ではどのような活動しているのか 等、色々と気になることがあります。

そのような中、11月17日に開催した研修会では、各たすけあいチームによる活動状況報告やグループワークなど、他の地区との情報交換を行うことができました。



(研修の様子)



(活動状況報告)

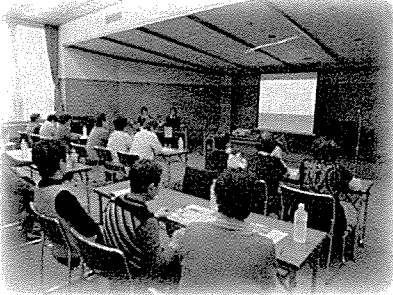


(グループワーク)

## 赤十字安全法講習会開催

去る9月28日文化ホールにおいて、旭川赤十字病院健康生活支援講習指導員の勝浦明恵氏と橘 尚子氏を講師に迎え、災害時高齢者生活支援講習会を開催しました。

当日は、赤十字奉仕団の団員20名が、災害時に「高齢者に及ぼす影響」や「接する時の心づかい」などについて学び、また「毛布を使った保温方法」や「癒しのハンドケア」等、知って役立つ技術を体験しました。



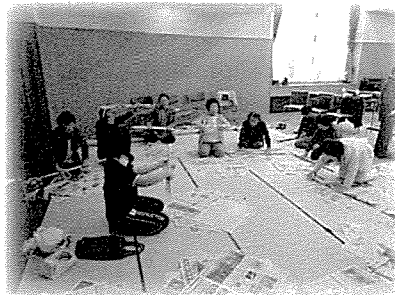
講習の様子



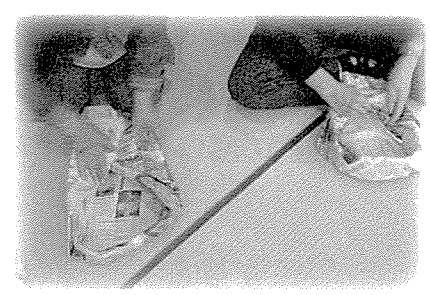
実技①：毛布を使った保温（ガウン）



実技②：癒しのハンドケア



実技③：簡易トイレ製作（紙便器）



### ◇皆様から頂いた古布は、病院等で有効に使われております!!

#### ～日赤奉仕団が裁断作業を実施～

町民の皆様から、日頃施設で使われる古布の寄贈のご協力をいただいておりますが、使いやすい形ですぐに利用できるようにと、日本赤十字奉仕団の皆様により古布裁断作業が去る11月14日に実施されました。

この作業は年4回行われ、本年度は既に3回行われました。切り終えた古布は病院などの各施設へ送られ、大変感謝されています。奉仕団の皆様方に感謝申し上げますとともに、古布を寄贈していただきました町民の皆様にも厚くお礼申し上げます。

なお、古布の寄贈は、随時受付けておりますので、今後とも皆様方の一層のご協力をよろしくお願いいたします。



### 有効に活用されています

#### ～日赤社資等実績報告～

毎年、日赤社員の募集及び寄付をお願いをいたしておりますが、今年も町民の皆様からの温かいご協力とご理解により、多額の社資納入・寄付をいただきました。

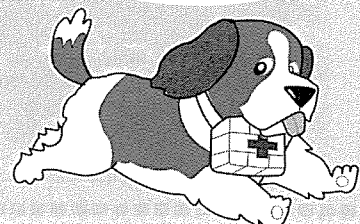
いただいた社資・ご寄付につきましては、福祉活動・災害援護などの各種日赤事業に有効活用されております。

ここ数年、災害等が頻発し、日赤活動の重要性が高まっておりますので、皆様のより一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年度  
社資・寄付金納入状況

**718,650円**

(12月15日現在)



## 心温まるご厚志に感謝申し上げます。

たくさんの方々より温かい善意が社協に寄せられました。  
地域福祉増進のため有効に活用させていただきます。

平成29年7月6日より平成29年12月20日まで（敬称は略させていただきます。）

住 所	氏 名	金 額	内 容
北 町 5 区	井 上 徳 江	30,000	香典返し（夫：井上文雄氏死去）
南 町 6 区	古 川 駿 吉	50,000	香典返し（妻：古川静子氏死去）
宮 村 1 区	北海道住電精密(株) 北海道電機(株) 北海道精密ツール(株)	13,900	社会福祉事業へ
大 和 7 区	株櫻井千田親睦会	61,546	社会福祉事業へ
高 島 1 区	稲 垣 照 義	100,000	香典返し（母：稲垣綾子氏死去）
北 町 1 区	(有)山下電装 山下安造	100,000	香典返し（妻：山下日出子氏死去）
本 町 5 区	土 田 エ イ	30,000	香典返し（夫：土田乙二氏死去）
南 町 6 区	千 葉 サキ子	30,000	香典返し（夫：千葉守男氏死去）
瑞 穂 1 区	東 藤 恵 子	300,000	香典返し（夫：東藤 勲氏死去）
本 町 5 区	田 中 史 子	30,000	香典返し（夫：田中隆雄氏死去）
南 町 6 区	佐 藤 和 子	30,000	香典返し（母：高橋七重氏死去）
南 町 1 区	塩 田 邦 恵	100,000	香典返し（夫：塩田英昭氏死去）
大 和 7 区	前 田 誠 子	30,000	香典返し（夫：前田孝彦氏死去）
東 町 7 区	露 木 芳 美	30,000	社会福祉事業へ
北 町 2 区	番 匠 寛 樹	30,000	香典返し（母：番匠スミ氏死去）



8月23日、(株)櫻井千田親睦会（代表：桜井雅聖氏）が社会福祉事業に役立ててと本年も産業祭チャリティ出店の益金を寄付してくださいました。

11月28日、しらゆり会（代表：澤田千恵子氏）が町立病院等の施設で役立ててと本年もたくさんのタオルを寄贈してくださいました。



北のまちから  
あつたカハーン

北海道内  
社会福祉協議会  
イメージキャラクター

ほっとちゃん



## 『平成29年7月九州北部豪雨災害義援金』 へのご協力ありがとうございました。

この度の災害で心温まる多額の義援金が寄せられ、日本赤十字社へ送金いたしました。町民の皆様の善意に心から感謝申し上げます。

団 体 名 等	金 額
奈井江町九州北部豪雨の被災者を救済する道民の会	62,728



## … ボランティアスクールの開催 …

本年度は、下記のテーマで講習会を開催します。  
ボランティアについて、みなさんと一緒に学びませんか？

### 『支え合いの地域づくり』（仮称）

日 時 平成30年2月15日(金)14:00～16:00(予定)

講 師 北海道総合福祉研究センター

事務局長 池田ひろみ氏

会 場 文化ホール交流談話室

定 員 各40名程度

参加費 無 料

申込先 社会福祉協議会事務局 ☎65-6066



【昨年度のボランティアスクールの様子】

## 「地域のつながり、支え合い」が大切です ～ 生活支援体制整備事業から

### … 講演会の開催 …

去る10月19日文化ホールにおいて、「公益財団法人さわやか福祉財団」北海道さわやかインストラクターの高木 悟氏を講師に迎え、全町民対象に地域のつながり支え合い講演会を開催しました。

講演の中で、高木氏は『助け合いの本質は、社会参加すること』と述べ、社会参加することが自分自身の介護予防となり、さらには地域住民や社会とのつながりが生まれる。また、地域において「助け合い・支え合い」に関心を持ってもらうためには、参加する人に役割や出番をつくることと自らが楽しんで行えるかが大事であると話していました。



### 《受講風景から》



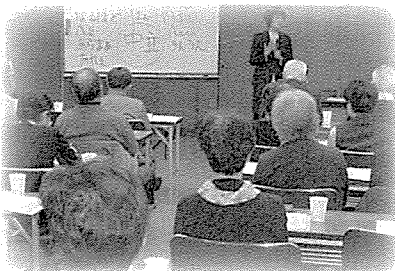
「認知症の正しい理解」

### … 介護サポーター養成講座 …

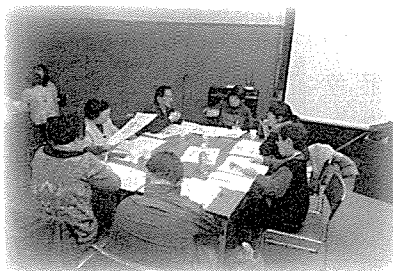
11月から12月にかけて介護予防サポーター養成講座を開講しました。

この講座は、介護予防及び地域の支え合い活動に資する知識・技術の普及啓発と人材育成を目的に、全6回の日程で行いました。

参加した約40名の受講者は、「介護予防、支え合い活動の重要性」や「認知症の正しい理解」、「傾聴の基本と実践」などを学び、またワークショップでは、各グループで「つながり、支え合いの地域づくり」について、積極的な意見交換が行われていました。



「傾聴の基本と実践」



「ワークショップ」



「介護予防に効果的な運動」